

紅美鈴
不倫
昔話

DOJIN
R18
Adults Only



めっ

めっ

めっ

めっ
めりっ

他のメイドに抱っこ
させるとギャーギャー
騒ぐのよ？その子

ほんと助かるわ美鈴
私以外でレミリアが
懐くの、貴女だけだから

はいはい
お呼びになりましたか
レミリアお嬢様？

エストリー・スカーレット
レミリアの母

あら、そう…
でも平気なの？
ノスフェルの専属メイドに
なつてから最近
貴女の体調が良くないって
小耳に挟んだけど…

ぼーん
ぼーん

いえいえ
奥様のお手伝いが
出来るのであれば
なんなりと申し付けて
くださいませ

…大丈夫ですよ

気づかれてはいけない
この奥様にだけはー

ぼーん
ぼーん



いつもより遅かったな
夜は短い
準備は出来ているのか
美鈴

ノスフェル・スカーレット
レミアの実父(エストリーの夫)

ガイイイ...

週に三度、
地下の寝室に足を
運んでいることを一

カッ
カッ



だんな様
その前にお話がー

パタン...



ほお、
ここに来る間に
準備を整えてきた奴が
言う台詞ではないな美鈴

びびり

ぐちゃっ

ぬちゃ

だ、だんな様
落ち着いて話をー

ぷは

あ

あ

ふむっ
ん...ん...っ

るん
つん





後ろを
向け美鈴

旦那さま、
奥様のことでー

すっ
すっ

ず
ず
ず
ず
ず

ふっ
んんっ

ああ、これだ…
妻のエストリーでは
味わえないこの肉体

素晴らしいぞ
美鈴

だんっなっ
さまあつ

ぬ
ちゅ

あっ
ふああ

ぬ
ちゅ



もう隠しきれません
おくっ
奥さまがつ
私に異変を感じています

バレてしまうのも
時間の問題です
どうか…っ
どうかお考え直して
くださいー

あっ



ぬっちゅ

ぬっちゅ

私が「構わない」と
言っているのだ
メイドのお前が気にするな

ですがー

かはっ
はっああっ

がっ
がっ



ほっ
ほっ

そんなっ
そんなこと、はっ
はあっ

あっ

美鈴は私が
命じた夜伽に
無理やり従わされただけー

エストリーには
そう答えればよいのだ

それに
この部屋に来た時点で
お前も期待をしている
のではないのか？

ああ、
そろそろだ美鈴

だっ ダメです
だんなっ さまああつ

私のすべてを
包み込んでおくれ

仕上げだ美鈴
キレイに掃除を
するんだ

……はい……
旦那さま……

よろ……







ガチャ

うん

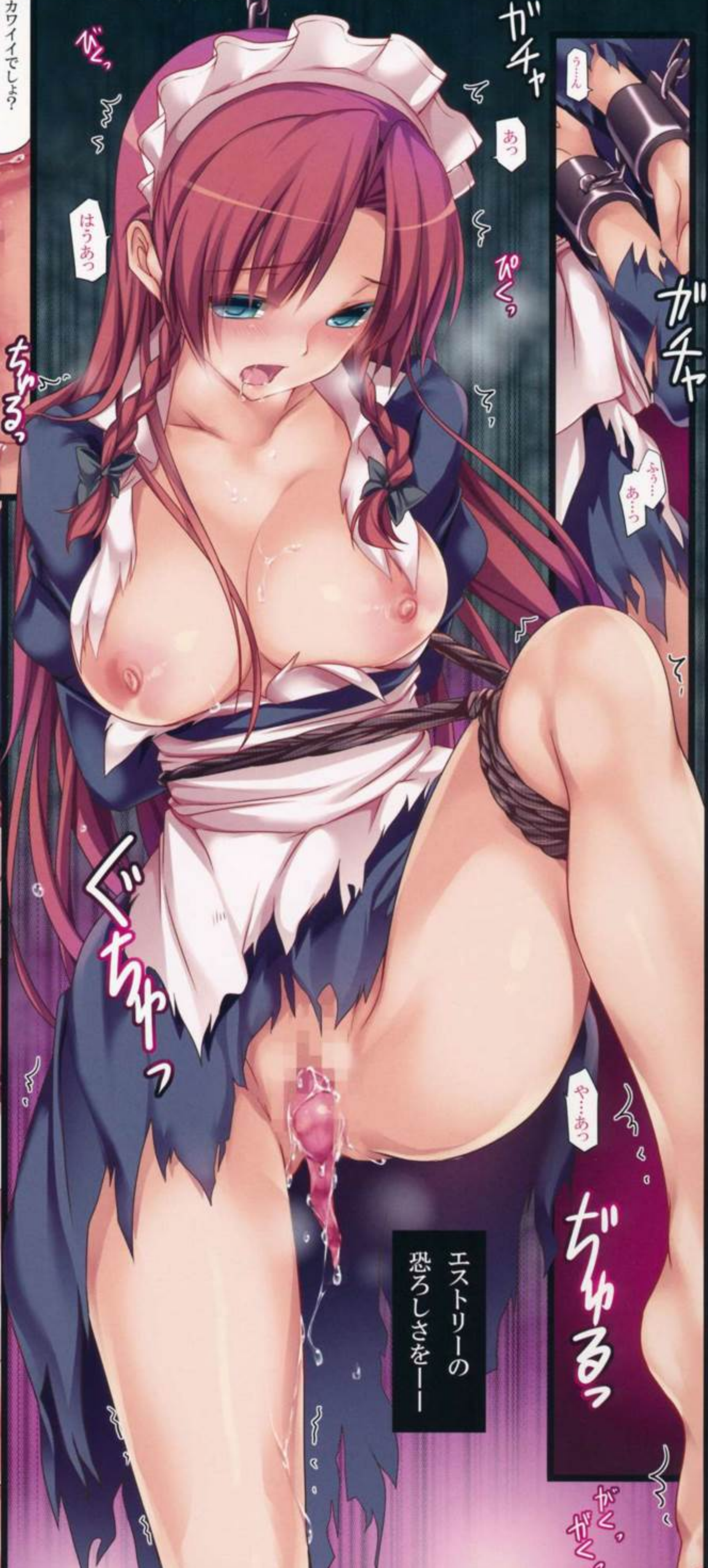
あ

あ

やあ

ぢゅる

か



はうあ

ぢゅる

エストリーの
恐ろしさを――



ぢゅる

あ

ごめんなさいね美鈴
アナタをすぐに
始末してあげたいけど



ノスフェルのモノより
絶対気持ちいいと
思うわ



あの人のお気に入り
私が殺めることは
できないから……

カワイイでしょ？
子宮に吸い付くその蛭、
牝の捕虜を快樂墮ち
させる為に用いられた
生物なの

淫乱な体つきね
この大きな脂肪の塊で
あの人を唆したのかしら

ひっ
痛っうう

口答えしないって
ことは凶星みたいね

ち、ちがっ
あうあああーっ

ゴチャゴチャ
ラララ

吸われてるー

子宮が
とれちゃう

あああ
おかしくなる、
やめ、うあ
あああ

いつちやったのおろ？
もう少し耐えると思ったけど
とんだ牝犬だったようね

あはははは

ガラガラ

まあいいわ
次に進められるから

あ
あ
あ



人間の中でも特に
価値もない
いわば家畜—

やめ

メイドのあなたなら
知ってるわよね？
私たち妖怪の
為に連れてこられた
食用の人間

いっや



きゅんきゅん

うそでして...
やめっ
離してっ

いっやっ

なに...を...

!?

どろろ
どろろ

牝犬のあなたには
家畜の相手が
一番ふさわしいわ

ねえ 美鈴？

いやだ！
こんなの！



くすくす

あーあーあーあ
あーあーあーあ

れろが

ちゅっ
ぽっ

家畜のエサにだけは
なりたくないー

ちゅっ
ぽっ

ちゅっ
ぽっ





いやー
だれか
だれかたすけて

どろろ

ビュッ

ビュッ

どろろ

どろろ

けほっ
けほ

ぽおー

こつなることは
わかってたのにー
早く紅魔館を
出ていけばよかったのに…

おっ

ほほ

どろろ

あなたには
ここがお似合いよ美鈴

ドク
ドク...

はー
はー

ギン
ギン

ふる
ふる

今度ノスフェルを喰したら
しばらくこの地下で住みついて
もらおうかしらね

あははは

ぽた
ぽた

ちゅ
ちゅ

どうして紅魔館を
離れられなかったのだろう

どうして
逃げられなかったのよ

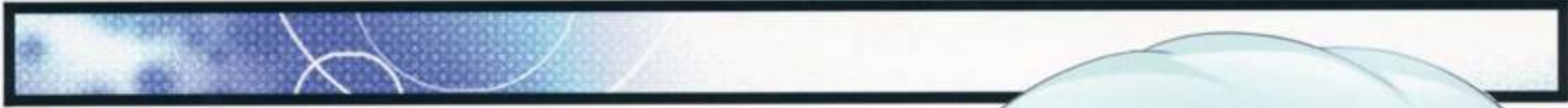
何の未練も...

ないのにー

め

めー





あ、お嬢様!

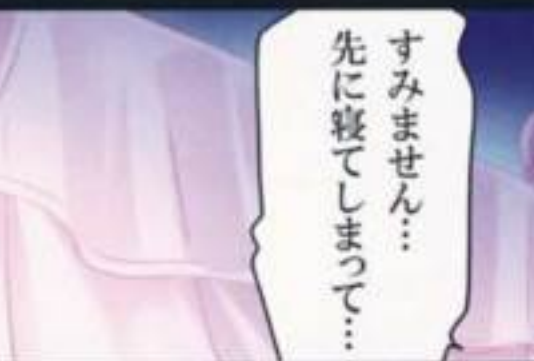
うなされてた
涙流して
心配した
おしけ〜?



お……
くちま……?



いいわよ
また昔の夢
みたんでしょ?
めーりんが
自分から甘えに
くるときは
だいたいそうだもの



すみません……
先に寝てしまつて……

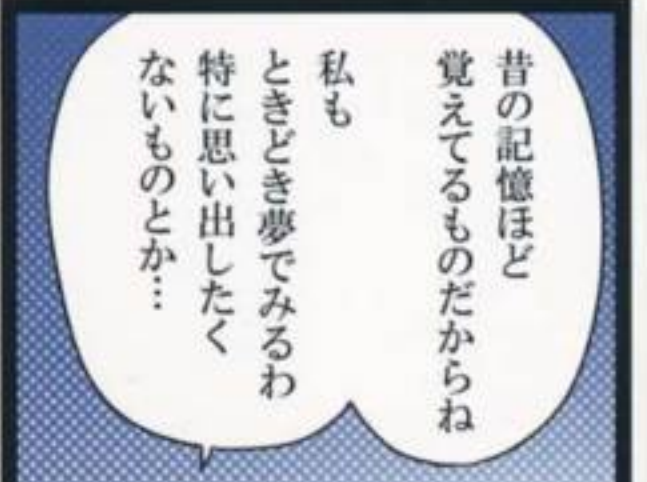


貴女を守るように
なつたんだから!



え?
お嬢様まだ
500歳児じゃ……

失礼ね
立派なレディよ!
ミラ……



昔の記憶ほど
覚えてるものだからね
私も
ときどき夢でみるわ
特に思い出したく
ないものとか……



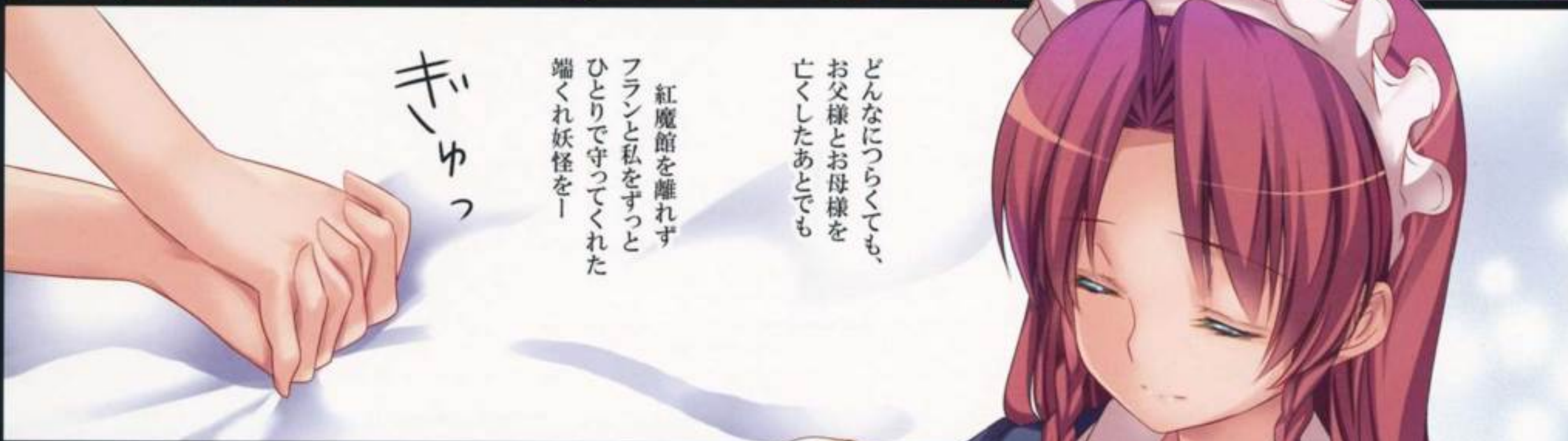


大丈夫
めーりんのことは
このレミリア・スカーレットが
守る

ずっとずーっと
そばに居るわ



もうあんなに……
つらい顔をした美鈴の
顔は見たくない



どんなにつらくても、
お父様とお母様を
亡くしたあとでも

紅魔館を離れず
フランと私をずっと
ひとりで守ってくれた
端くれ妖怪をー

キィゅっ



幸せにしてやれないで
何が主人だー

ふふ、
どっちが従者か
わかりませんね

従者なんて
建前じゃないか

私には紅魔館の皆を
護る義務がある

それが
大黒柱ってのもندیしょ？



だから美鈴のことも
母として、
妻として、
幸せにするよ♡

ちゅ♡

.....



キザなレディに
なりましたねえ

ずっと昔に読んだ漫画に
ヴァンパイアが
こうやってプロポーズしてた
ようやく使えて嬉しいわ
えへへ♡





【あとがき】

こんにちは、もねていです。

←今回は缶田一斗氏の同人小説を基に漫画を描かせていただきました。紅魔館500年前を舞台にしたメイドめーりんと先代主人の不倫ものです。さすがに輪姦されるめーりんを描くのは可哀想で今まで描けずにいたのですが、最後に百合で締めたことでなんとかモチベーションを保てました。輪姦ものはエロい!が、可哀想で描けない…ってのがネックだったのでねえ。やっぱ百合だよ百合。

実際の小説の中身は私の漫画とは少し違い、旦那様とはこのようなシチュ(1)があります。全体的に鬱展開ですがめーりんを抱きしめたい・助けてあげたい・愛おしいと思える作品ですので是非是非一読してみてください。

はい、というわけで私の漫画はさらにオリジナル要素が入り、めーレミをメインにおいた作品となっております。一応解説しておきますと、美鈴がどんなに酷い目に遭わされても紅魔館を出て行かなかった理由は『レミアお嬢様を気に入っていたから』です。そしてレミア自身も美鈴のことが大好きで、だんだんと元気がなくなる美鈴に「ぼいーんぼいーん♪」で励ましていたわけです。

(それが描きたかっただけ)



長々となりましたが以上です!
エロ塗りに慣れてきたこともあり次回の漫画もフルカラーになると思います。めーりん一途なのは変わらずあれやこれやとシチュを変えて今後も楽しんで描きますよー。

そろそろSっ気な攻めーりん描きたいぞー!

それでは、
また次回の本でお会い致しましょう~♡

<スペシャルサンクス * 缶田一斗さま>





発行 : MONEけしごむ

発行者 : もねてい

発行日 : 2014年8月16日

印刷 : トム出版 様

連絡先 : daifuku1285@yahoo.co.jp

: [pixiv ID = 3066815](https://www.pixiv.net/member/entry.php?ID=3066815)



※本誌の無断転載、複写、ネット上への無断公開を禁止致します。

